

施工業者様用〈施工説明書〉

セッتون階段 Light

(リアージュ踏板厚15mm)

特許登録済

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

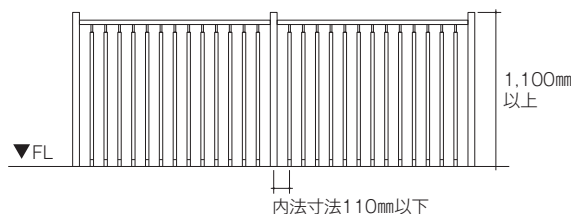
施工に際して以下の警告・注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



警告!

- 躯体の強度を確保してください。
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 子柱は、子供がすり抜けないように踏板で使用する場合は2本、2階ホール等に使用する場合は内法110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1,100mm以上としてください。

■2階ホールなど



■階段部分



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。



注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは踏面から750~800mmの高さに取り付けてください。
- 手すりは連続して取り付けてください。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

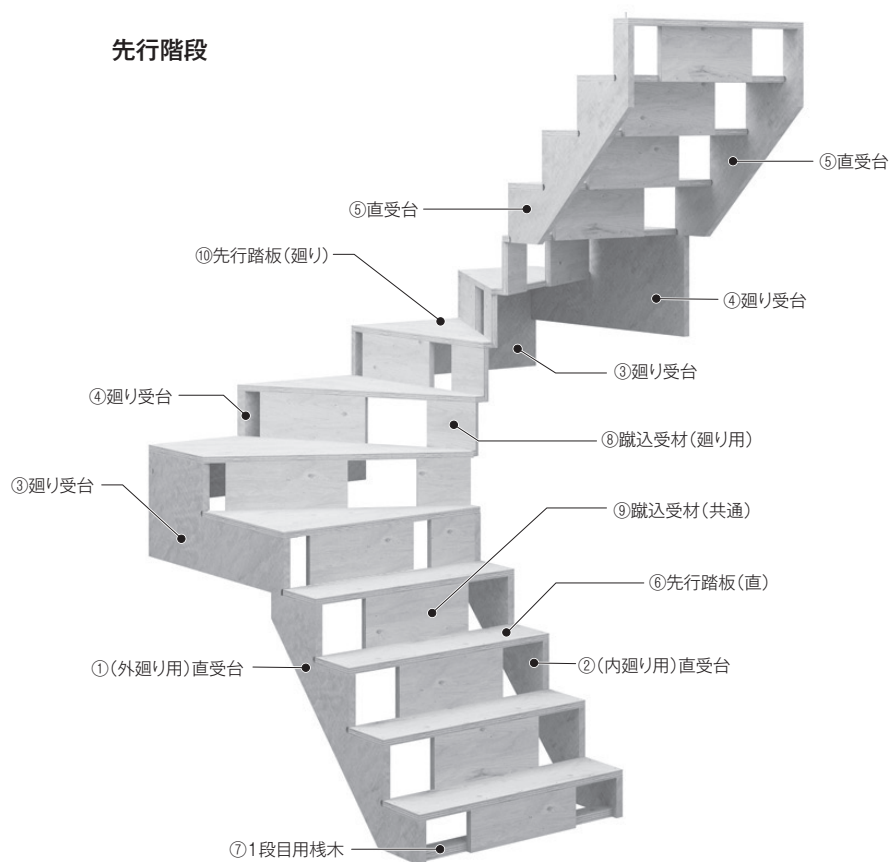
- ・固定に使用される木ビスは、市販のコーススレッド等の保持力の高いものをご使用のうえ、固定がしっかりとされているかを確認しながら施工を進めてください。細ビス等を使用される場合は本数を増やす等にて保持力の確保を確認しながら施工してください。
- ・本製品は通常のプレカット階段に比べ強度的に向上する構造となっておりますが、たわみによるクロス切れや踏鳴り等の問題を補償するものではありません。施工現場の状況により、踏板(廻り踏板)の下部へ栈木等で補強を行うようにしてください。
- ・化粧部材を取り付けるまで、本施工説明書を捨てないでください。



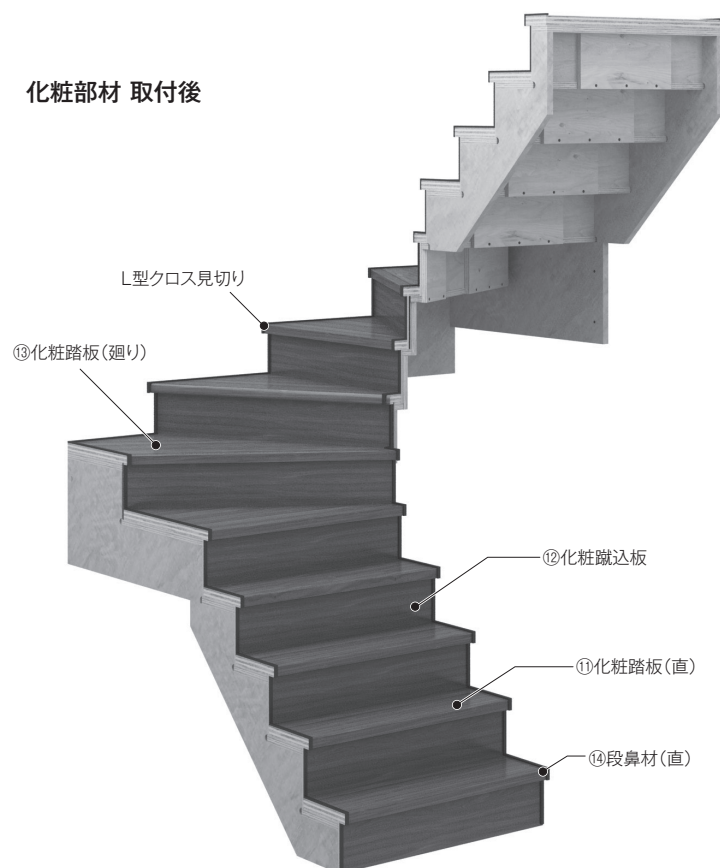
完成イメージ

先行階段を組み立てた後、他の内装工事を進めてください。
内装工事終盤に、化粧階段を取り付けてください。

先行階段

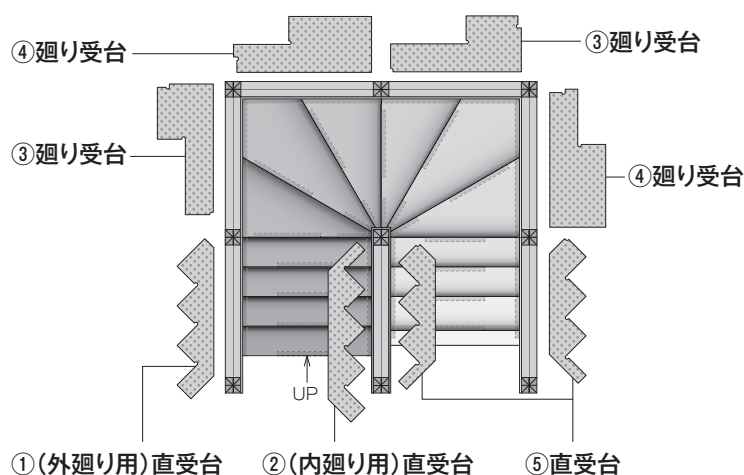


化粧部材 取付後



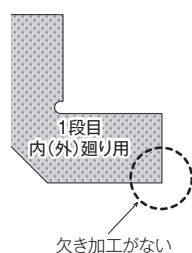
部 材 図

●受台 厚さ23mm

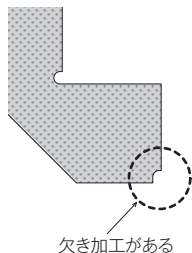


直受台の違い 上記平面図の場合の使用部材となります。(直4段・右廻6段・直3段 上がり切り14段)

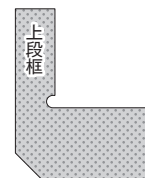
●1段目～の直受台



●廻り階段・踊り場と接続する直受台



●上段框部分の直受台



●先行部材

⑥先行踏板 直階段用

厚さ24mm
クリアランス設定: 両側2mmずつ



⑦1段目用栈木

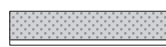
30mm×60mm



●化粧部材 リアージュ 踏板厚15mm

⑪化粧踏板 直階段用

クリアランス設定: 両側1.5mmずつ



⑫化粧蹴込板

直階段、廻り階段用
厚さ5.5mm



⑧蹴込受材(廻り用) 廻り階段内側用

厚さ22~24mm



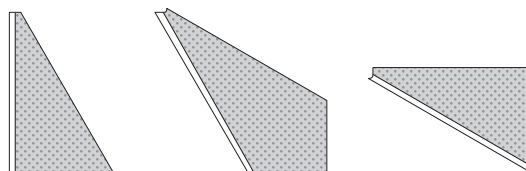
⑨蹴込受材(共通) 直階段、廻り階段用

厚さ22~24mm



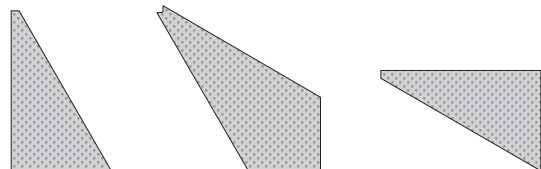
⑬化粧踏板 均等3段廻り

クリアランス設定: 両側1.5mmずつ



⑩先行踏板 均等3段廻り

厚さ24mm
クリアランス設定: 軸側柱より4mm



⑭段鼻材 無垢集成材 厚さ36mm



※長さは現場に合わせてカットしてください。

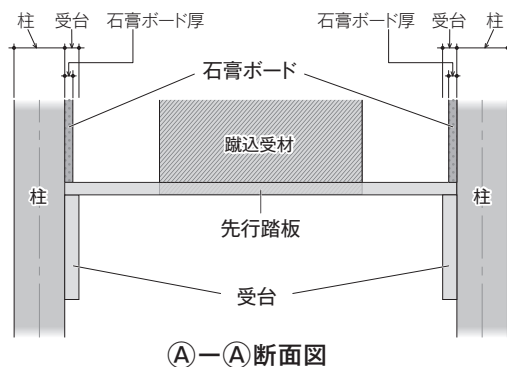
受台の取付パターン

※受台取付パターンの違いにより、受台の加工寸法が異なります。
必ず納まりを確認の上、取り付けてください。

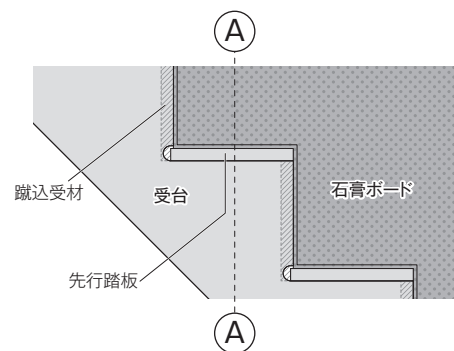
柱に受台を直付けする場合

- ・で描かれた部分が石膏ボード施工部分となり、階段の形状に沿って石膏ボードのカットが必要になります。
- ・先行踏板寸法は、「柱内々寸法 - クリアランス寸法」となります。
- ・先行階段を取り付けた後に石膏ボードを施工する手順です。

発注寸法	先行部材：柱に取付(柱直付け)
	化粧部材：石膏ボード上から取付(石膏ボード厚指定)



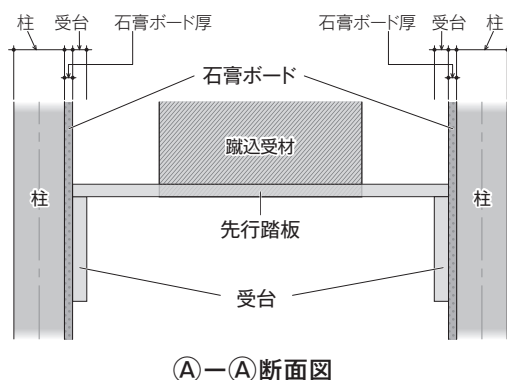
①—①断面図



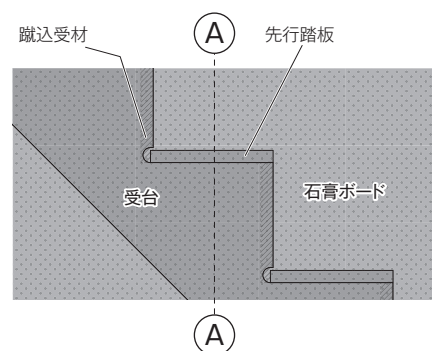
石膏ボード施工後に受台を取り付ける場合(石膏ボード先貼り施工)※省令準耐火 基準対応

- ・で描かれた部分が石膏ボード施工部分となり、受台側板を取り付ける前に石膏ボードを施工します。
- ・先行踏板寸法は、「柱内々寸法 - (石膏ボード厚×2) - クリアランス寸法」となります。

発注寸法	先行部材：石膏ボード上から取付(石膏ボード厚指定)
	化粧部材：石膏ボード上から取付(石膏ボード厚指定)



①—①断面図



先行階段の取付

手 順

1

躯体精度の確認

先行階段の取付作業を行う前に、躯体精度にずれ等がないかを確認してください。
ずれ等がある場合は、その誤差が2mm以下となるよう調整してください。

手 順

2

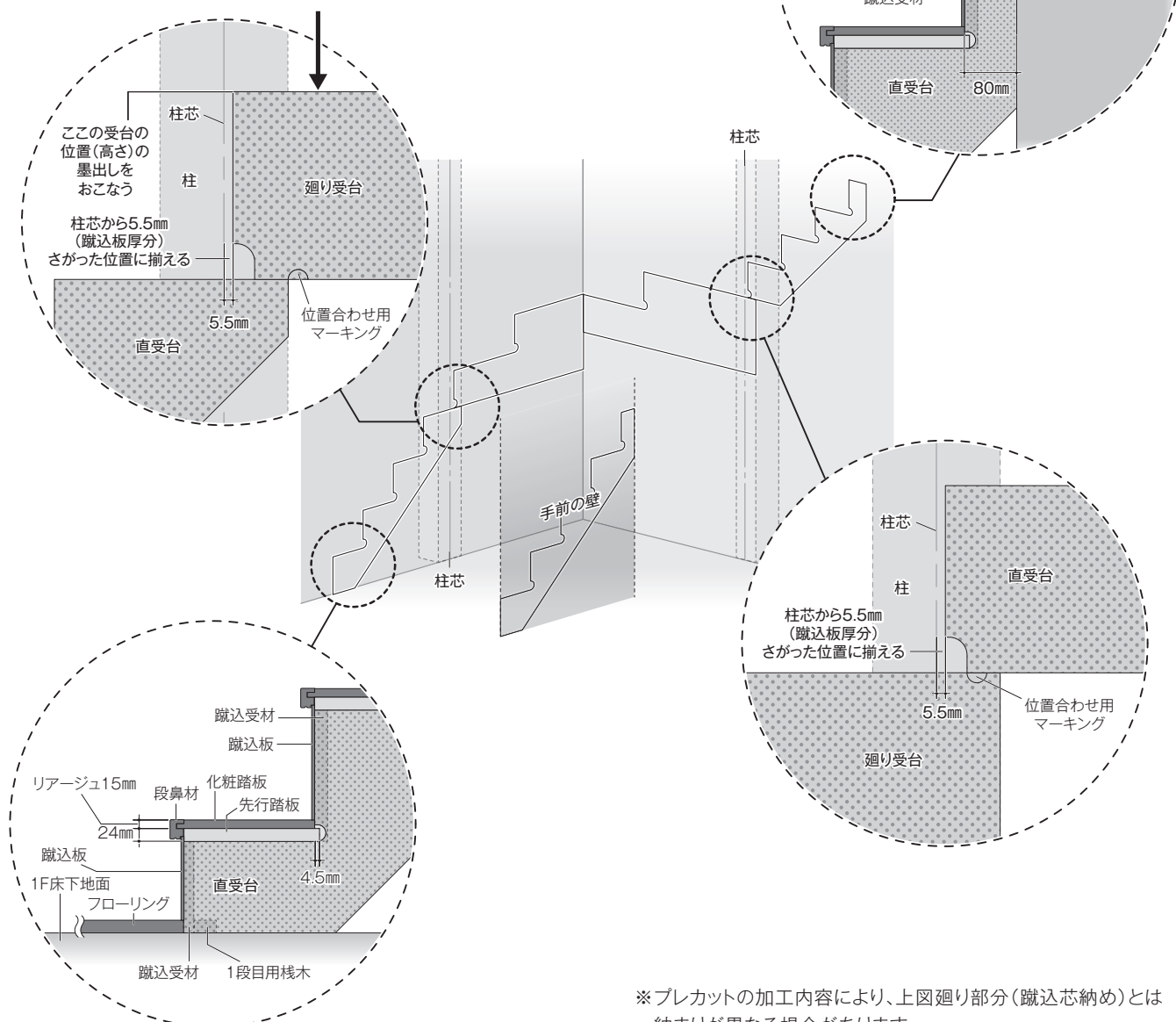
廻り受台と直受台の取付位置の墨出し

廻り受台から取付位置の墨出しを行ない、直受台は廻り受台の
位置合わせ用マーキングを目安に取付位置を決定していきます。

※踏面、蹴上げ寸法は現場にてご確認ください。

**蹴上げ寸法×段数－(化粧踏板厚(リアージュ15mm)＋先行踏板厚24mm)＋
下階フローリング板厚**

例えば、蹴上げ寸法200mm、化粧踏板厚15mm、下階フローリング板厚12mmの場合、
仮に5段目の受台の上端位置を墨出しするには、
 $200 \times 5 - (15 + 24) + 12 = 973$
床下地から973mmの位置に墨出しをする。



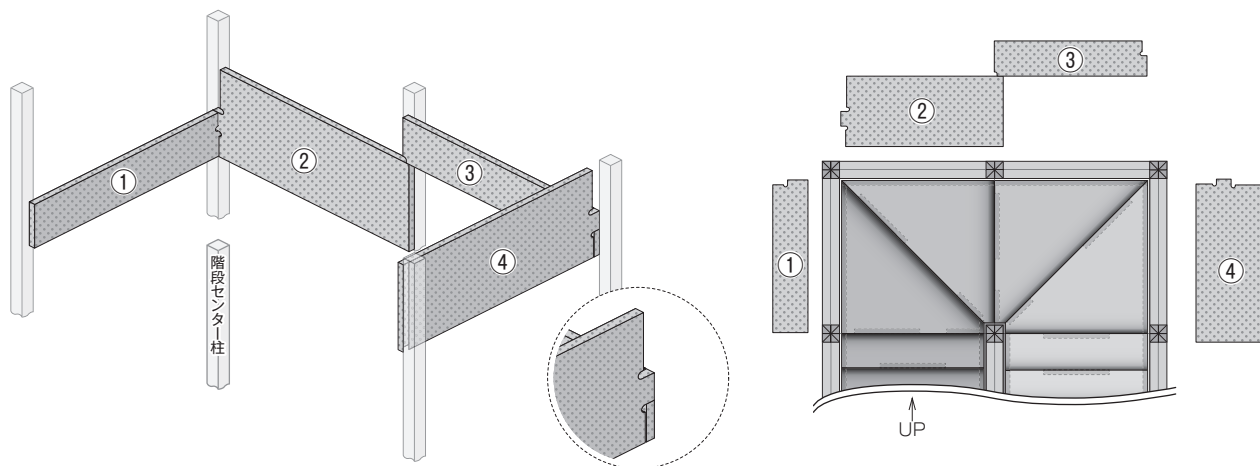
※プレカットの加工内容により、上図廻り部分(蹴込芯納め)とは納まりが異なる場合があります。

廻り受台（踊り場）の取付

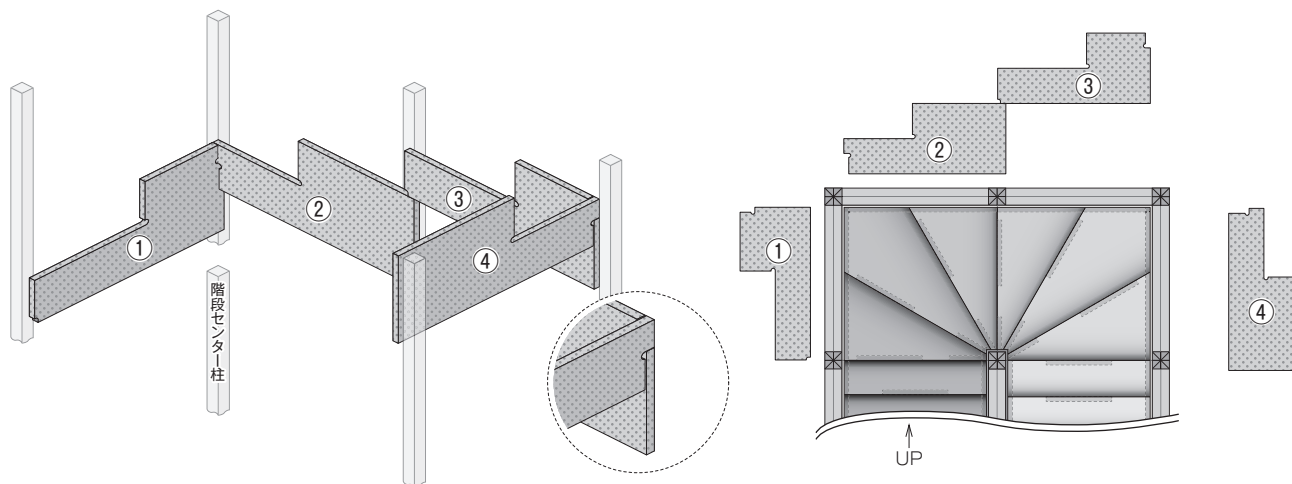
※7段・90度4段（180度8段）の取付はP.7～12を参照

墨出し位置に従い、受台を躯体（柱・間柱）へ固定します。あらかじめ、コーナー部に36mm角以上の垂木（現地調達品）を取り付けてください。（P.12の「コーナー部分の廻り受台の取付について」をご参照ください。）

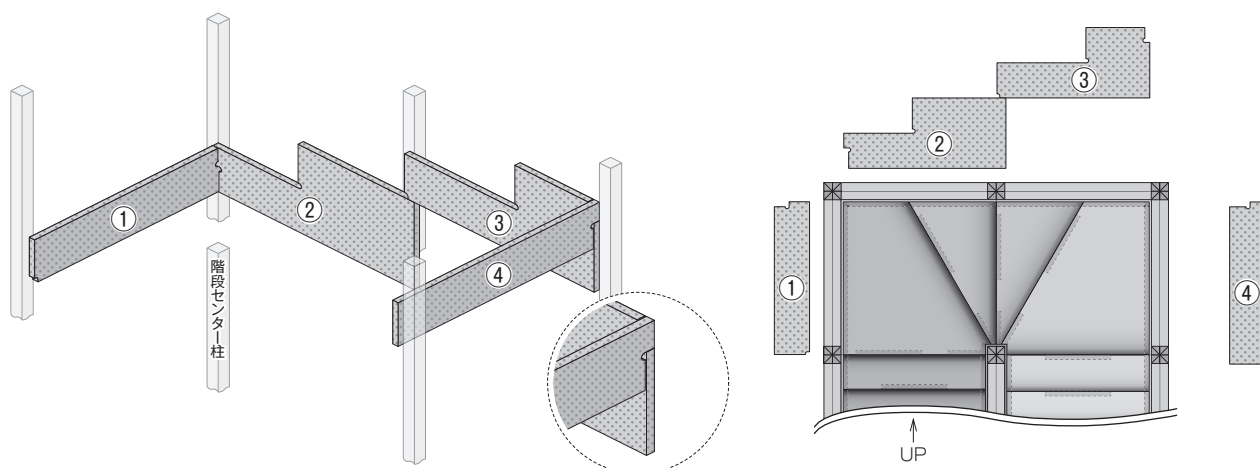
●2段廻り



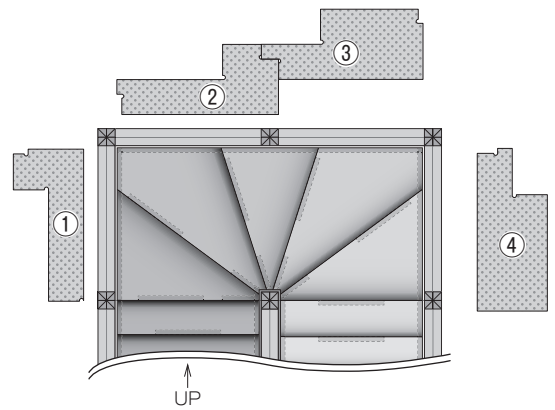
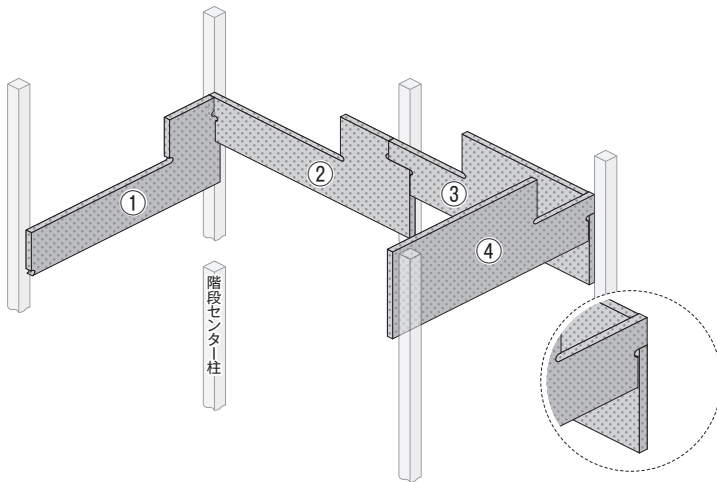
●3段廻り



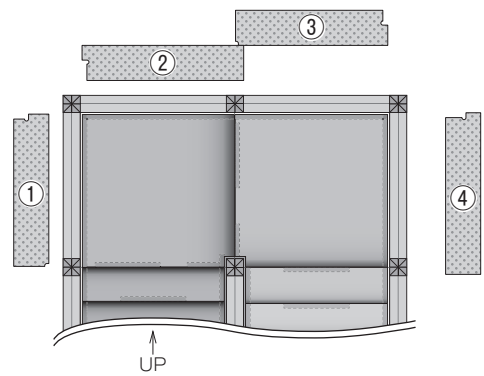
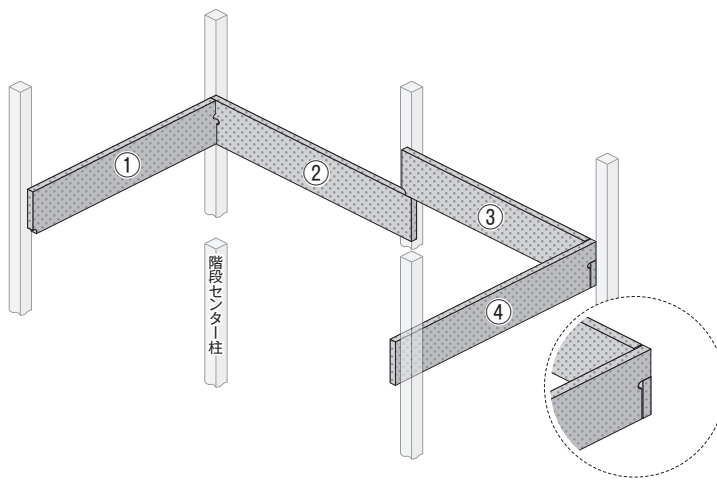
●バリアフリー2段廻り



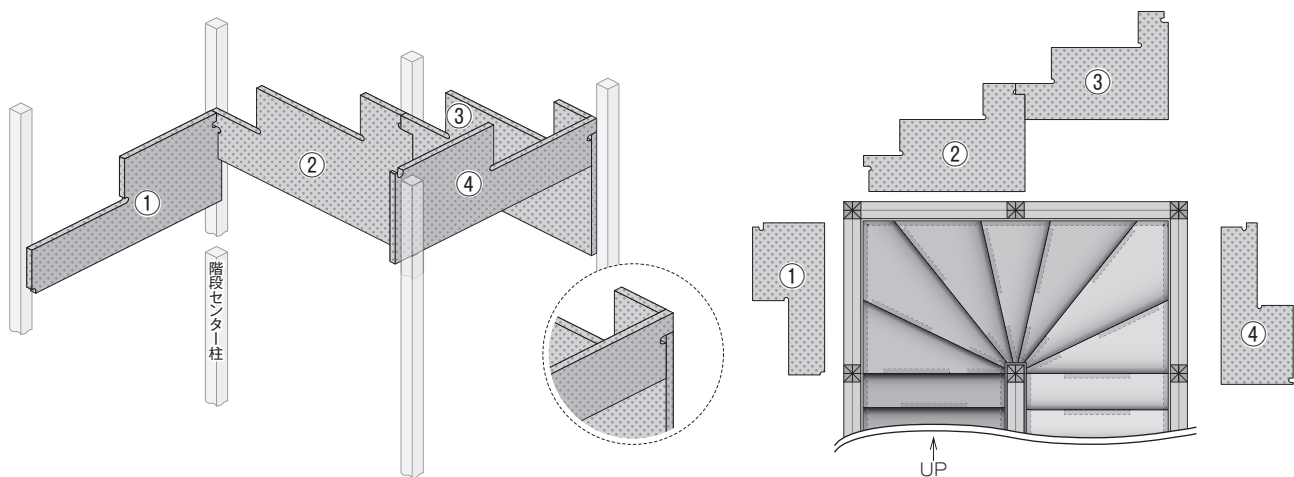
●5段廻り



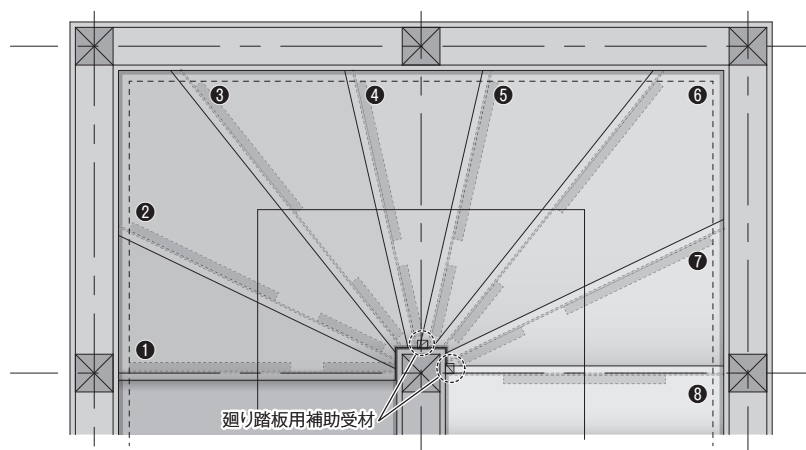
●踊り場



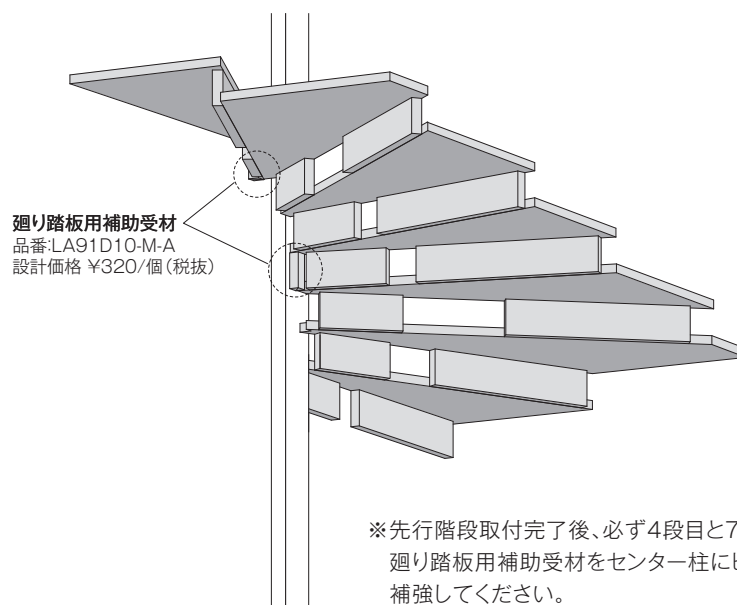
●7段廻り



平面図(均等7段廻り)

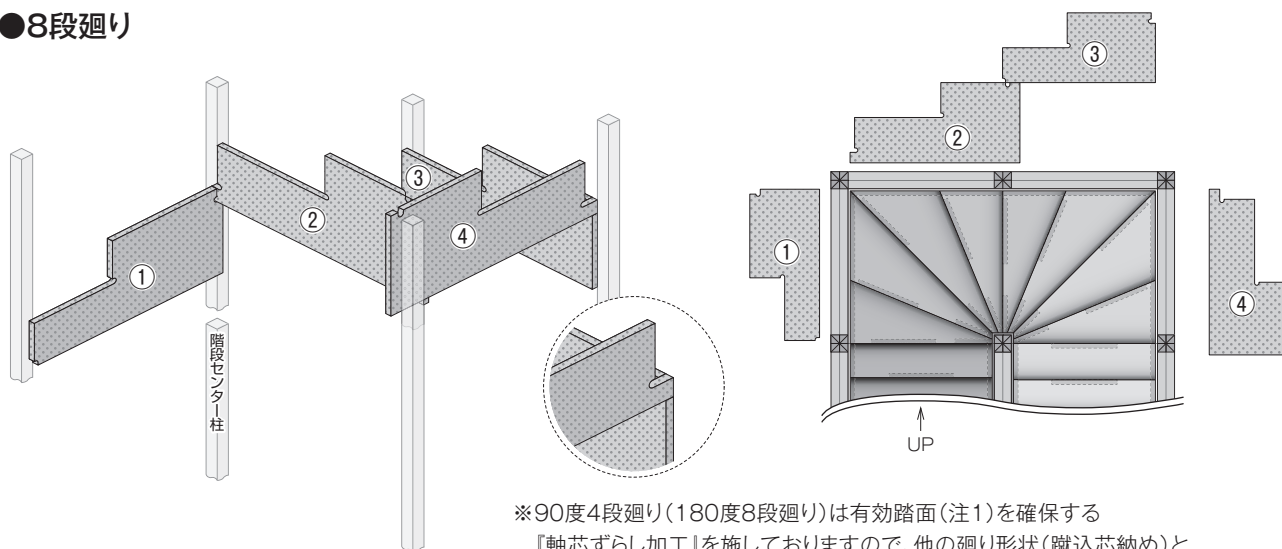


段裏見上げ図(均等7段廻り)



※先行階段取付完了後、必ず4段目と7段目の踏板の下に
廻り踏板用補助受材をセンター柱にビス等で下側から取り付けし、
補強してください。

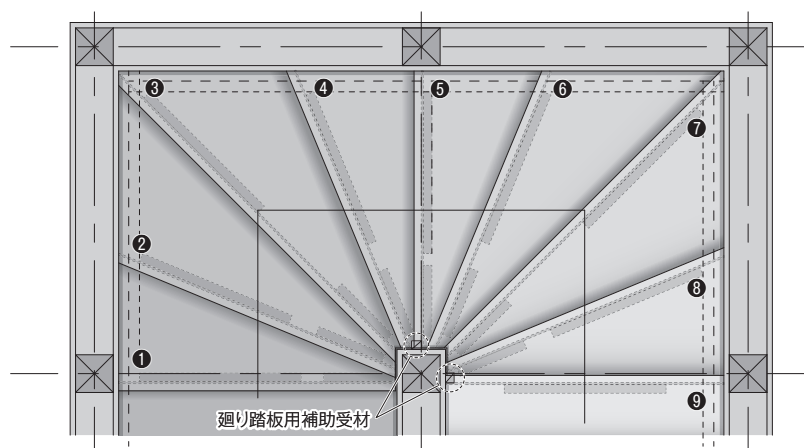
●8段廻り



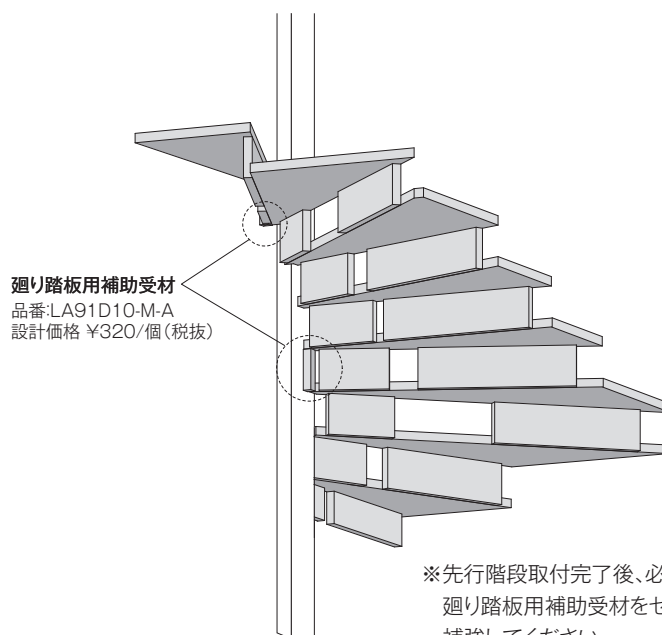
※90度4段廻り(180度8段廻り)は有効踏面(注1)を確保する
『軸芯ずらし加工』を施しておりますので、他の廻り形状(蹴込芯納め)と異なる納め方となっております。(P.9~12参照)

(注1) 建築基準法施行令十三条において「廻り階段の部分における踏面の寸法は狭い方から三十センチメートルの位置において測るものとする」と定めている。

平面図(8段廻り軸芯ずらし)



段裏見上げ図(8段廻り軸芯ずらし)



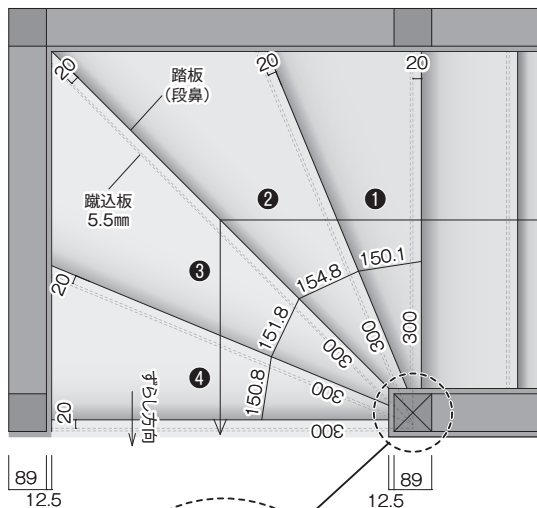
※先行階段取付完了後、必ず4段目と8段目の踏板の下に
廻り踏板用補助受材をセンター柱にビス等で下側から取り付けし、
補強してください。

●90度4段(180度8段)廻り(有効踏面確保)の納まり図

柱角:89mm、PB:12.5mm(ボードの上から)、鼻の出:20mm の場合

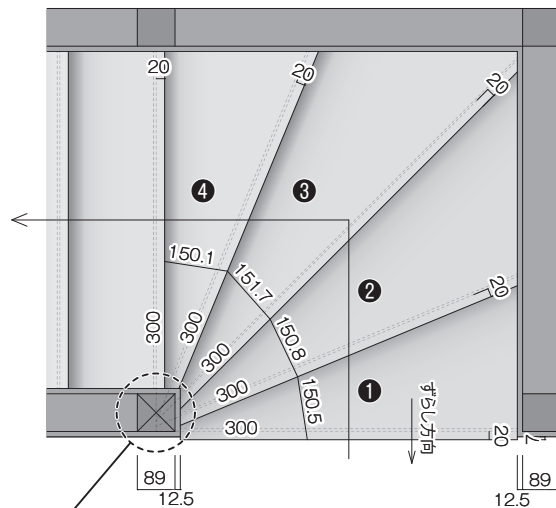
※中折れ階段の場合は、上段ずらしになります。

4段廻りが上り終わりにくる場合(上段ずらし)



1、2、3段目軸芯ずらし:28mm
4段目軸芯ずらし:37mm

4段廻りが上り始めにくる場合(下段ずらし)

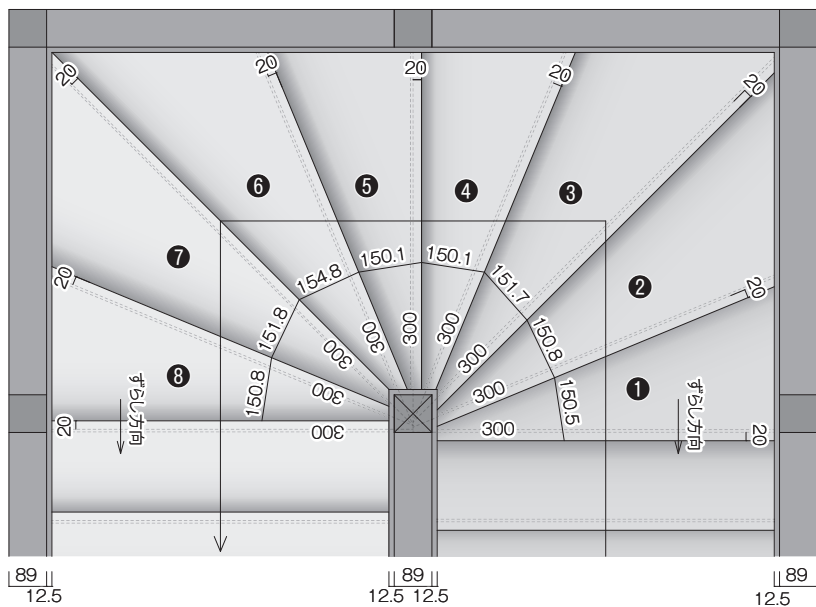


1段目軸芯ずらし:44mm
2段目軸芯ずらし:32mm
3、4段目軸芯ずらし:20mm

Point!

1段目の踏板が7mm壁から飛び出しますので設計上の注意が必要となります。

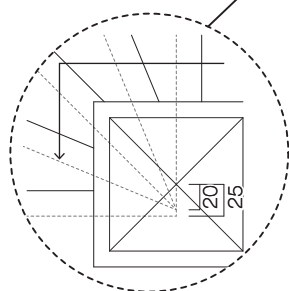
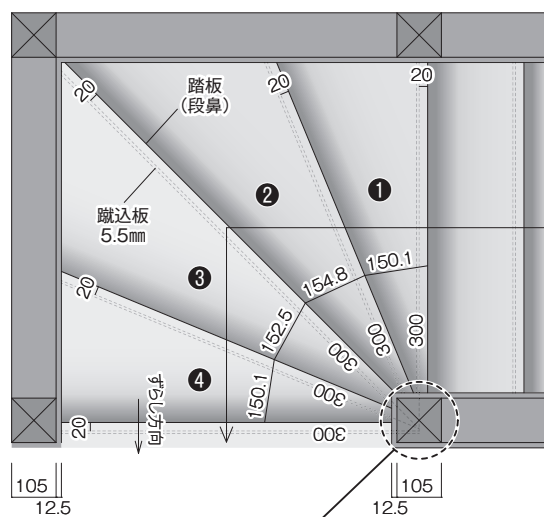
8段廻り(上段ずらしと下段ずらしの組み合わせ)



柱角:105mm、PB:12.5mm (ボードの上から)、鼻の出:20mm の場合

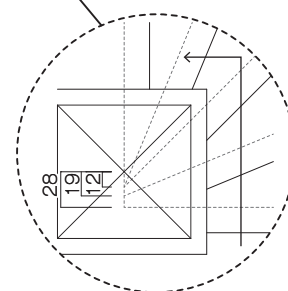
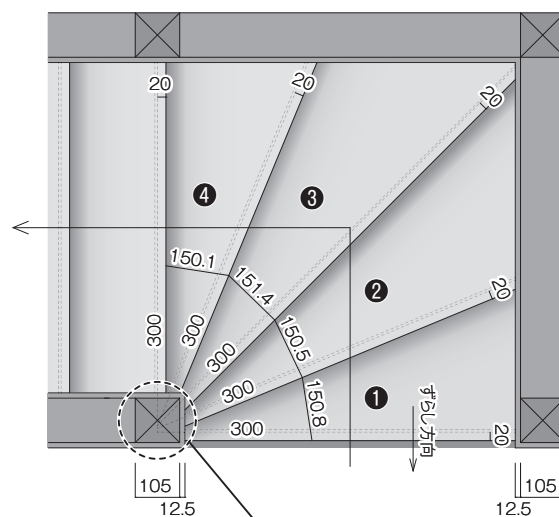
※中折れ階段の場合は、上段ずらしになります。

4段廻りが上り終わりにくる場合(上段ずらし)



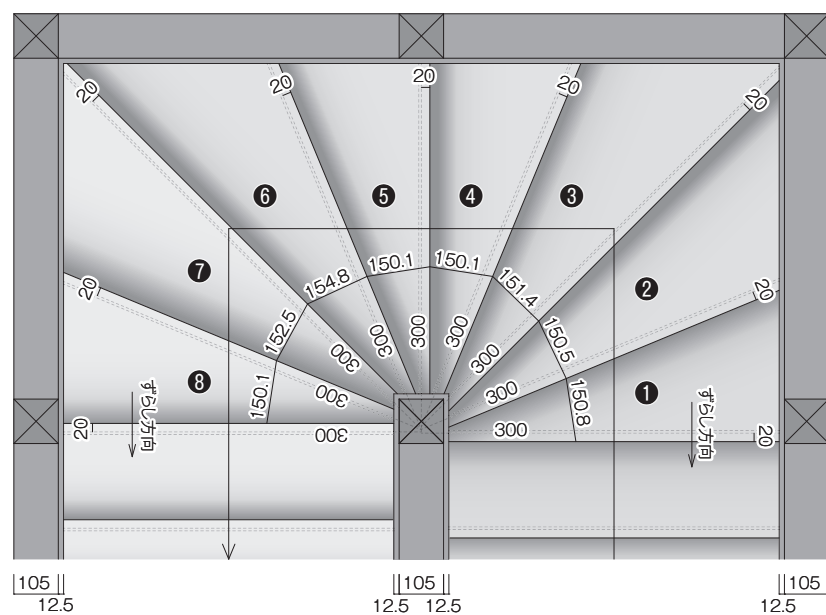
1、2、3段目軸芯ずらし:20mm
4段目軸芯ずらし:25mm

4段廻りが上り始めにくる場合(下段ずらし)



1段目軸芯ずらし:28mm
2段目軸芯ずらし:19mm
3、4段目軸芯ずらし:12mm

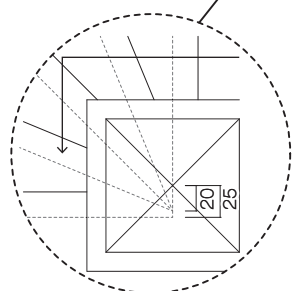
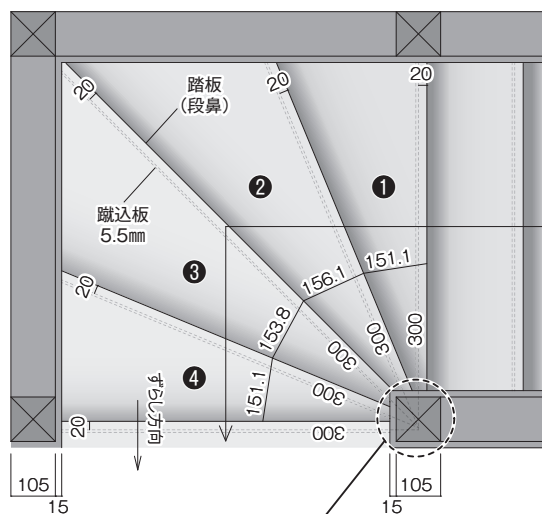
8段廻り(上段ずらしと下段ずらしの組み合わせ)



柱角:105mm、PB:15mm (ボードの上から)、鼻の出:20mm の場合

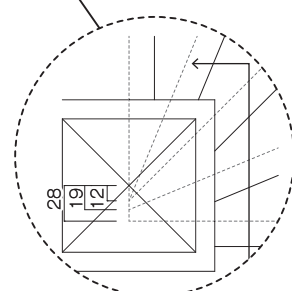
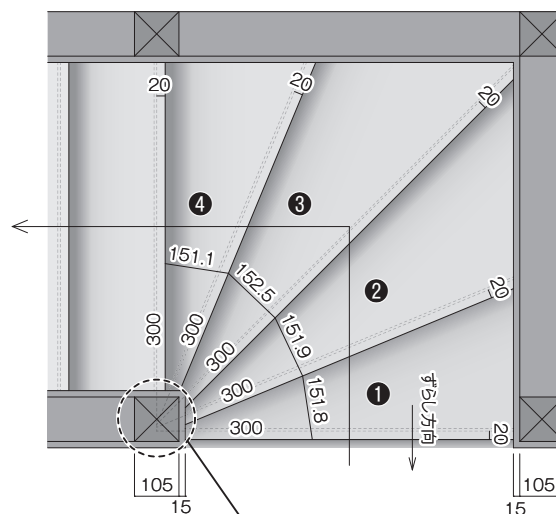
※中折れ階段の場合は、上段ずらしになります。

4段廻りが上り終わりにくる場合(上段ずらし)



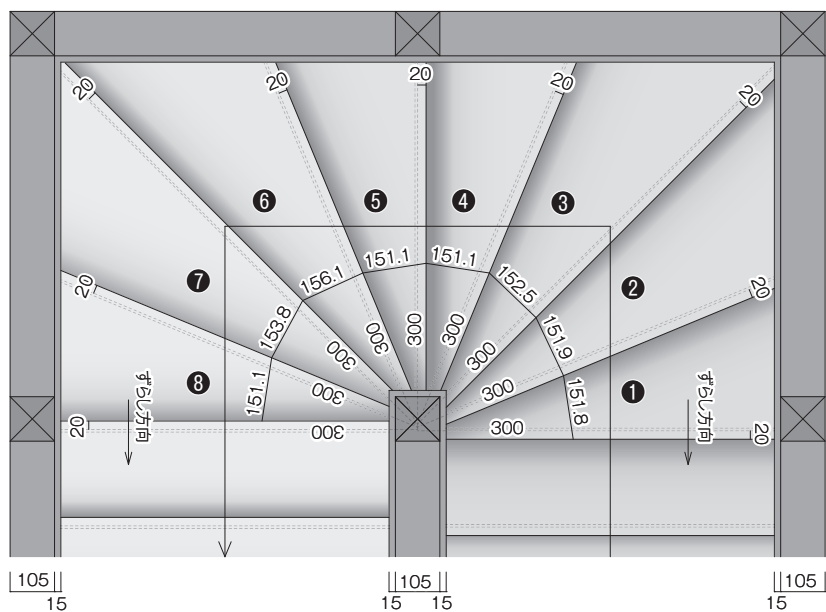
1、2、3段目軸芯ずらし:20mm
4段目軸芯ずらし:25mm

4段廻りが上り始めにくる場合(下段ずらし)



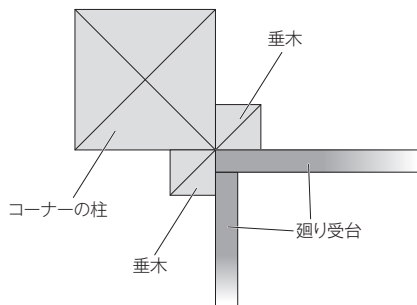
1段目軸芯ずらし:28mm
2段目軸芯ずらし:19mm
3、4段目軸芯ずらし:12mm

8段廻り(上段ずらしと下段ずらしの組み合わせ)

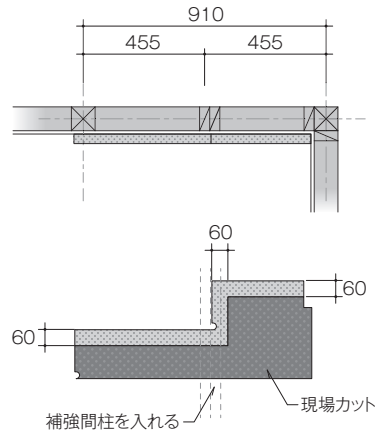


●コーナー部分の廻り受台の取付について

コーナーの柱に廻り受台を取り付ける際は36mm角以上の垂木を現場調達してください。



●階段下に窓などの開口部がくる場合

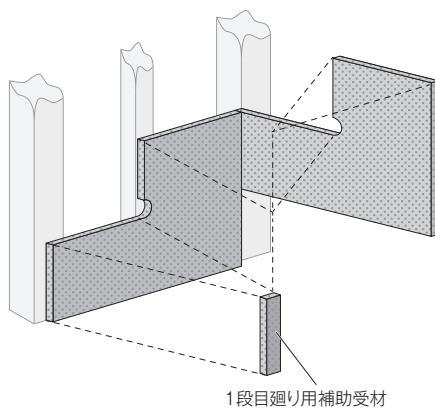


階段下に窓や開口部がくるために受台を欠き込まなければならない場合は、最低でも60mm以上は受台の厚みを残すようにしてください。

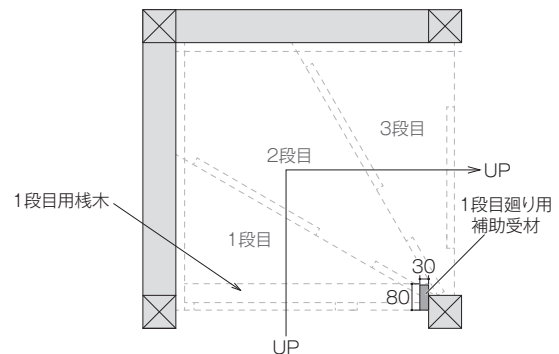
⚠ 注意

上記の寸法が確保されていない場合、階段の強度に影響を及ぼす場合があります。

●1段目が廻り階段から始まる場合

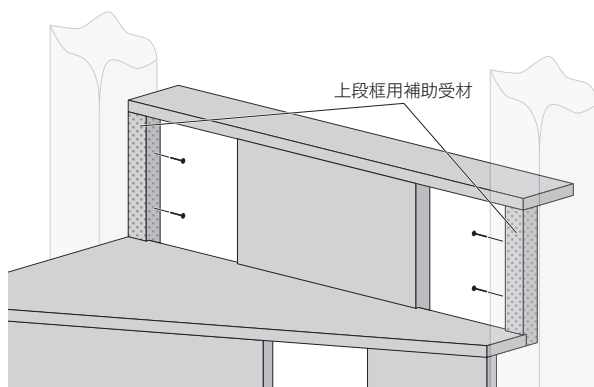


廻りで始まる階段の補助受材の取付位置

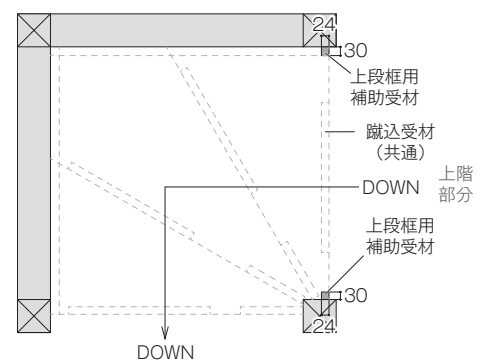


1段目廻り用補助受材は、1段目の蹴込受材と面一にして取り付けてください。

●廻り階段で上がり切る場合(上段框用受材)



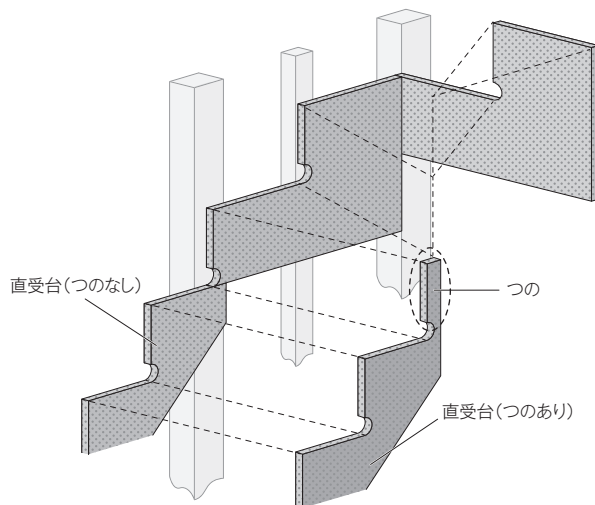
廻りで上がり切る階段の補助受材の取付位置



上段框用補助受材は正方形ではありません。上図と同じ向きで取り付けてください。

直受台の取付

・受台を躯体へ固定します。



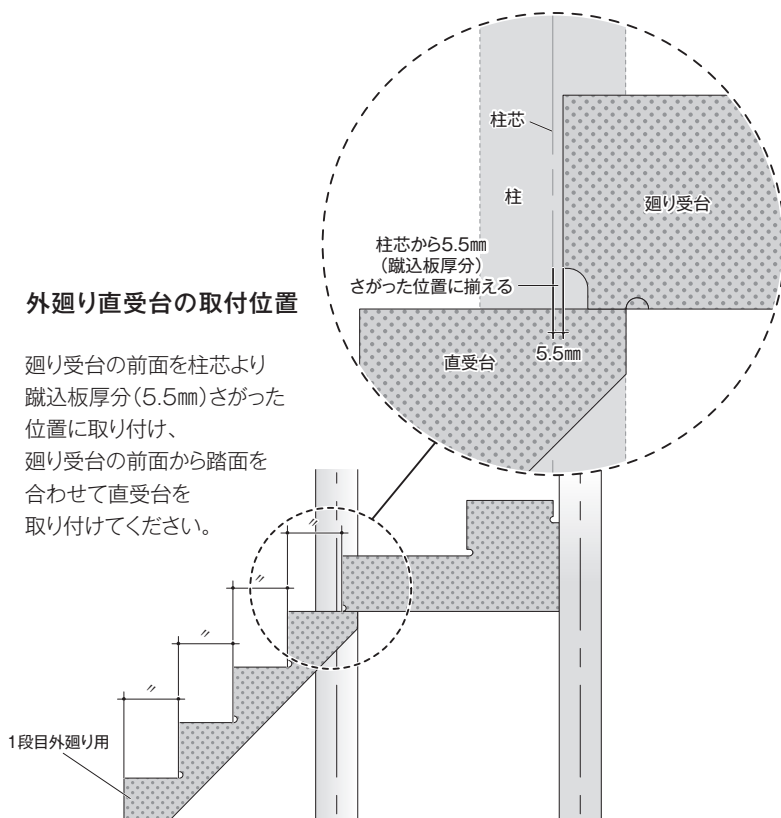
1段目～廻り受台までの直受台は、内側と外側で直受台の形状が異なりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

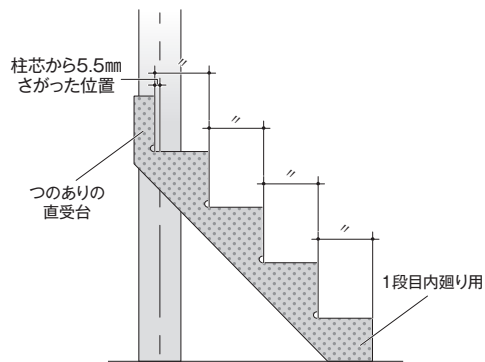
直受台の「つの」のある方を内廻りの直受台として取り付けてください。

外廻り直受台の取付位置

廻り受台の前面を柱芯より蹴込板厚分(5.5mm)さがった位置に取り付け、廻り受台の前面から踏面を合わせて直受台を取り付けてください。



内廻り直受台の取付位置



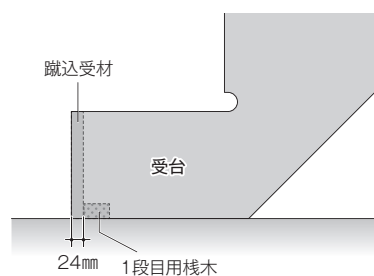
直受台の「つの」の前面を柱芯より蹴込板厚分(5.5mm)さがった位置に取り付けてください。

⚠ 注意

8段軸芯ずらしはP.9図面を参照してください。

1 段目用 桟木の取付

・1段目用桟木は受台の面より蹴込受材の厚み分(24mm)さがった位置に取り付けてください。



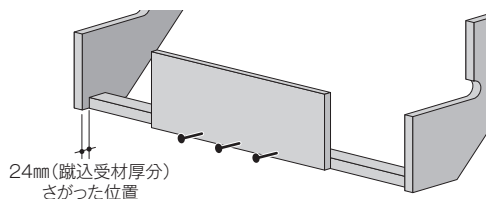
先行踏板の取付

【直部分】

① 1段目用栈木に

蹴込受材を付けてビスで固定

※1段目用の蹴込受材には
切欠き加工は施されていません。



先行踏板を乗せてビスで固定

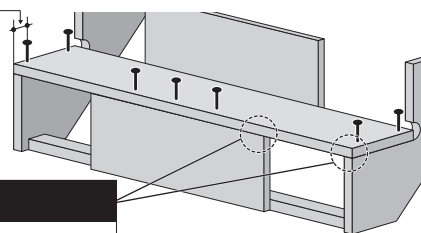
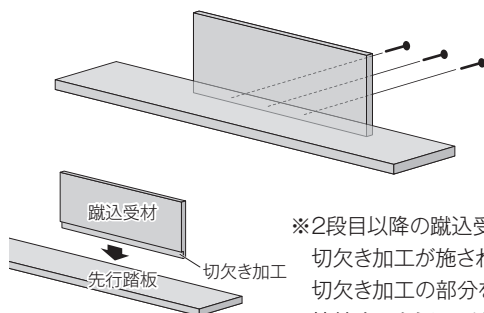
⚠ 注意

先行踏板のビス位置と、化粧踏板のフィニッシュ
ネイル位置が重ならないように注意してください。

踏板の端から
25mm程度の位置

Point!

受台・蹴込受材・先行踏板
の面を合わせる

②～④ 下段の先行踏板に蹴込受材をつけ、
裏側からビスで固定

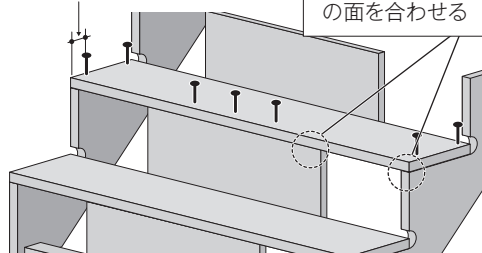
※2段目以降の蹴込受材には
切欠き加工が施されています。
切欠き加工の部分を先行踏板に
接続するように取り付けてください。

先行踏板を乗せてビスで固定

Point!

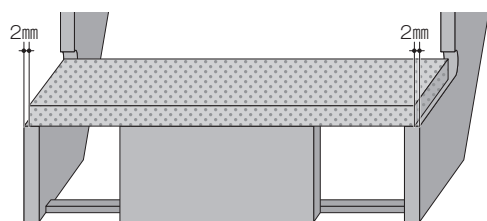
受台・蹴込受材・先行踏板
の面を合わせる

25mm以上



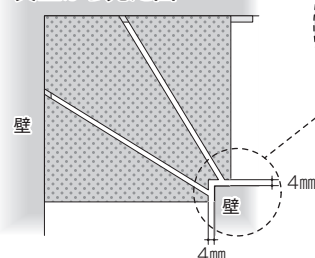
先行踏板 クリアランス寸法

【直階段用】



【廻り階段用】

真上から見た図



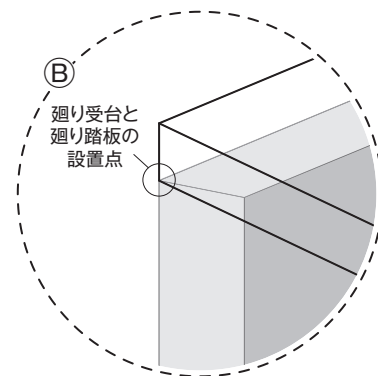
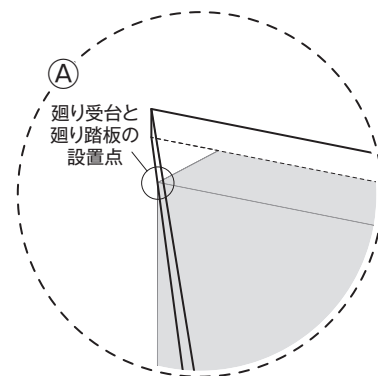
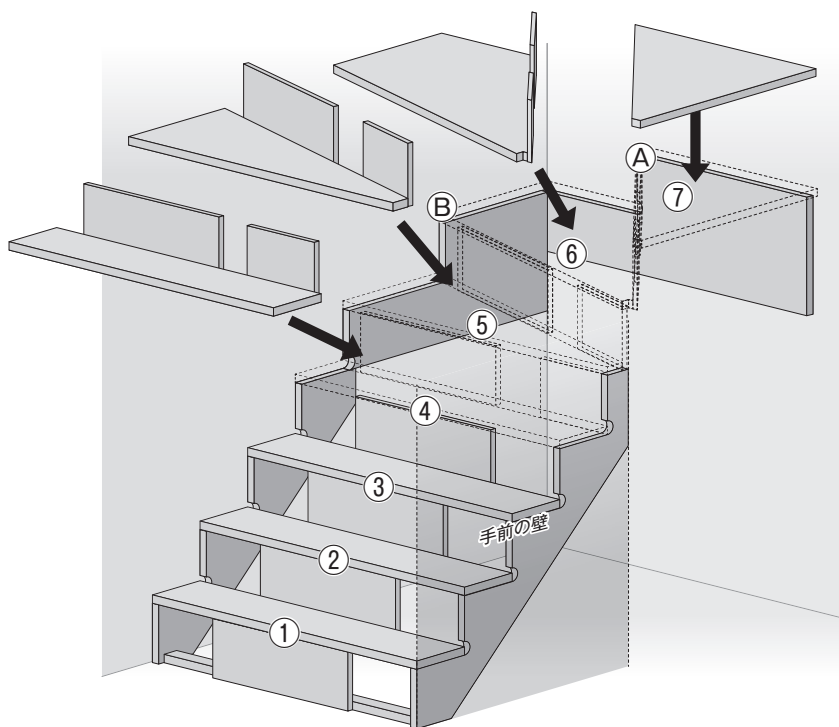
クリアランスを
揃えて
取り付ける

Point!

軸心部分のコーナーにまたがるくちばし状に加工された踏板
を取り付ける際は、クリアランス②④を揃えておく化粧踏板
がよりきれいに納まります。

※L型プレカット巾木の場合、内廻りに巾木がないため壁との間にスキ間が
生じる場合があります。

【廻り部分】

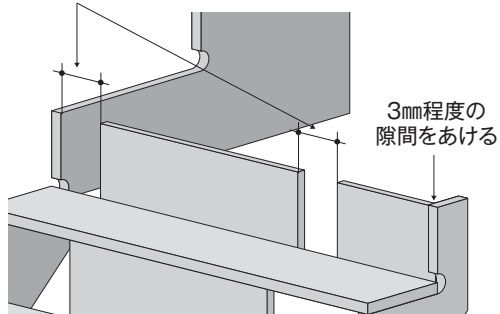


⑤～⑦ 蹴込受材の取付

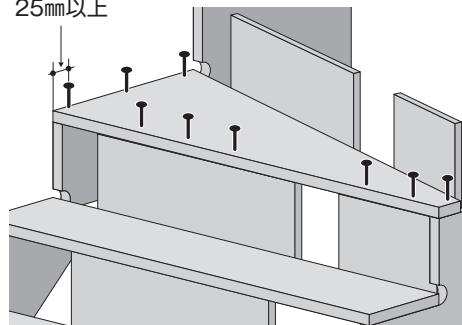
※①～④とは異なり、蹴込受材を大小2枚使用します。

先行踏板を乗せてビスで固定

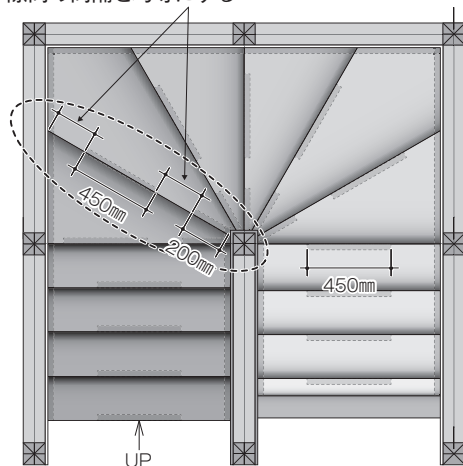
隙間の間隔を均等にする



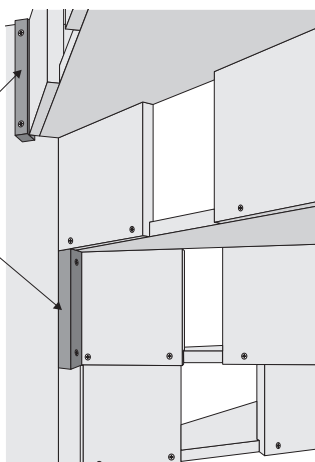
25mm以上



隙間の間隔を均等にする



廻り踏板用補助受材
品番:LA91D10-M-A
¥320/個(税抜)



補強について

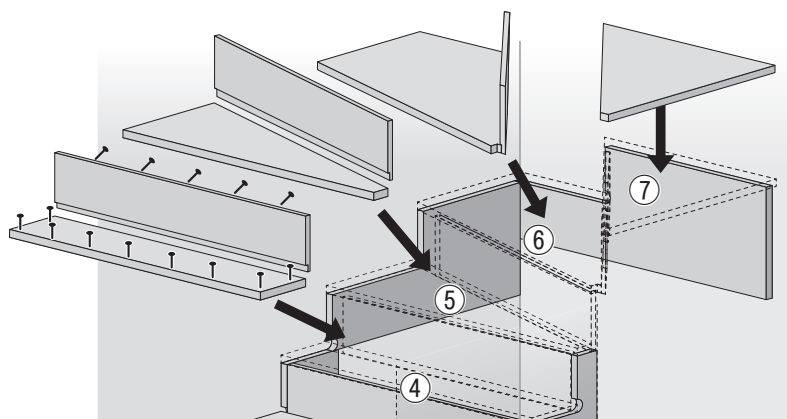
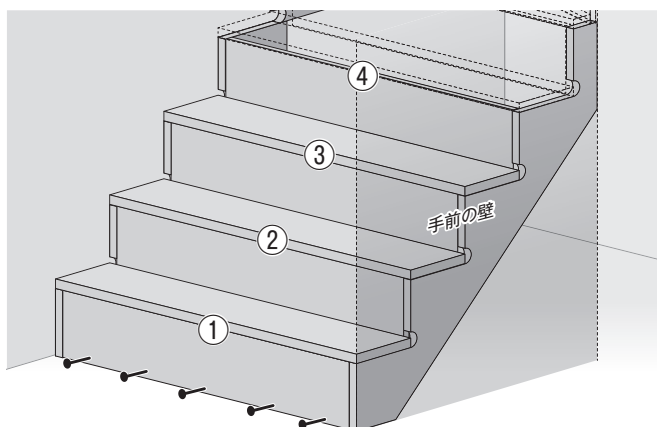
先行階段取り付け後、補強を行ってください。

- ・たわみ等が見られる場合は増ししめ及びビスの追加にてたわみ等のないようにしっかりと補強を行ってください。
- ・折返し階段等のように廻り部分が90度以上ある場合は図のように踏板の下に補強用材(現場調達品)もしくは廻り踏板用補助受材(オプション品)をセンター柱側と踏板下側よりビスで取り付けし、補強を行ってください。

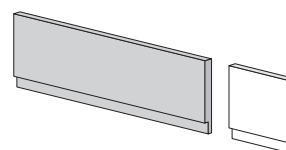
⚠ 注意

合板には個体差がありますので
左図以上に補強が必要になる場合もあります。

蹴込受材ワイドを使用する場合



※蹴込受材ワイドの
長さ方向は
現場カットとなります。



化粧階段の取付

⚠ 注意

化粧階段を取り付ける前に、必ず先行階段の表面をよく清掃してください。その際、木クズやビス頭等による突起物がないかもよく確認してください。隙間の発生や接着不良の原因となります。

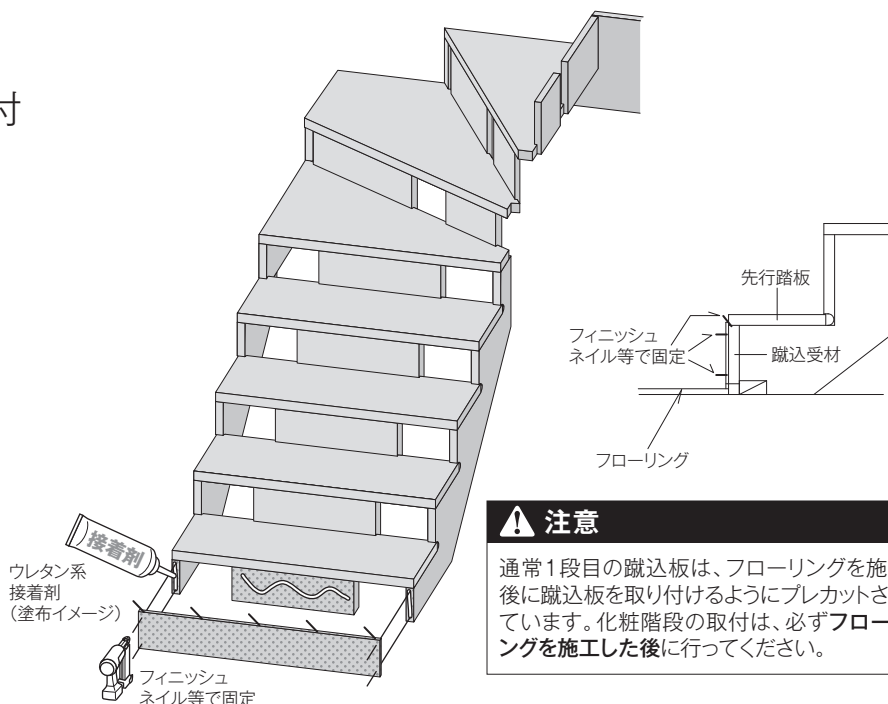
手順

1

直部分の取付

1段目化粧蹴込板の取付

- ・1液ウレタン系接着剤 I W330 (ZY1211:別売品)で蹴込板を貼り付けます。
- ・巾木等で隠れる位置にフィニッシュネイル等で固定します。フィニッシュネイル(30mm)の施工位置は図を参照してください。

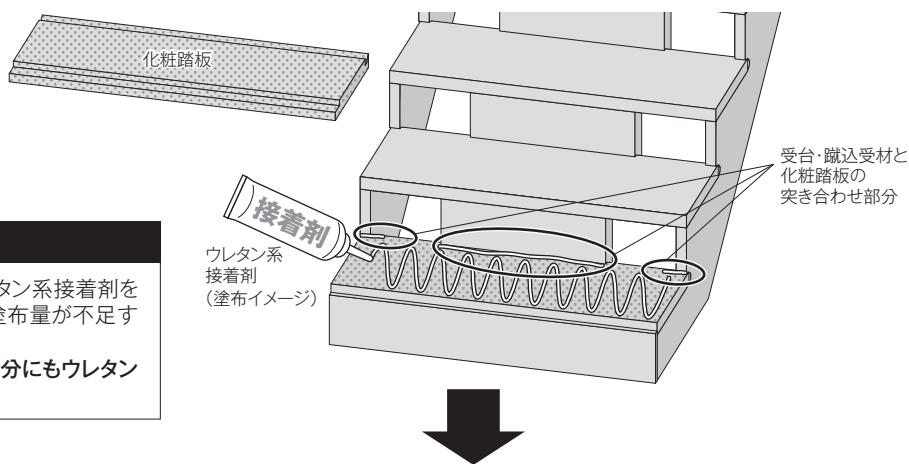


⚠ 注意

通常1段目の蹴込板は、フローリングを施工後に蹴込板を取り付けるようにプレカットされています。化粧階段の取付は、必ずフローリングを施工した後に行ってください。

1段目化粧踏板の取付

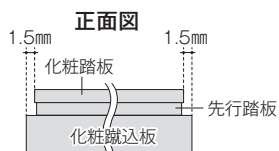
- ・蹴込板と同様に接着剤 I W330 (ZY1211:別売品)を塗布し化粧踏板を貼り付けます。
- ・巾木等で隠れる位置にフィニッシュネイル等で固定します。



⚠ 注意

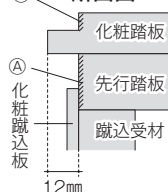
化粧踏板を取り付ける際、先行踏板にウレタン系接着剤を全体的にまんべんなく塗布してください。塗布量が不足すると音鳴りする場合がございます。
受台、蹴込受材と化粧踏板の突き合わせ部分にもウレタン系接着剤を塗布してください。

※取付位置は、先行階段の蹴込受材面から化粧踏板段鼻勘合部分が13mm出る位置(図参照)になります。また、化粧踏板には両側1.5mmずつのクリアランスを設けています。

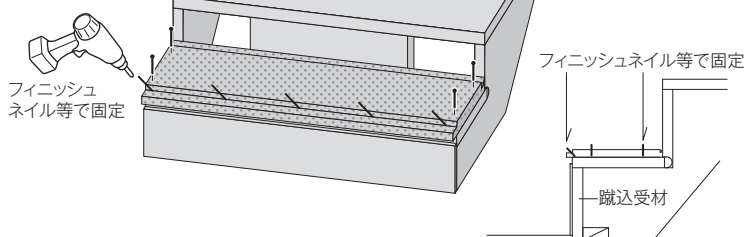


Point!

⑧ 断面図

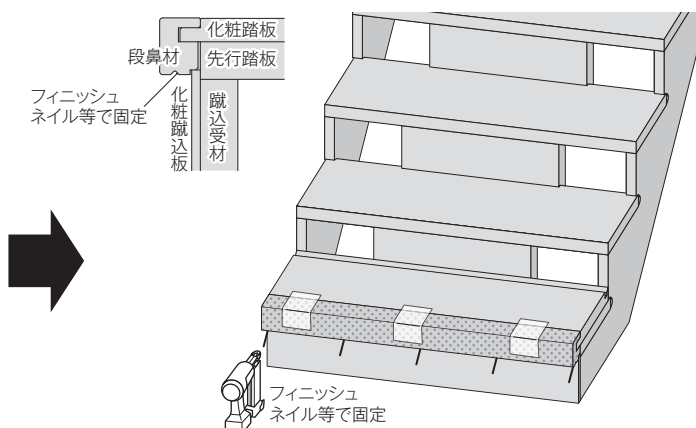
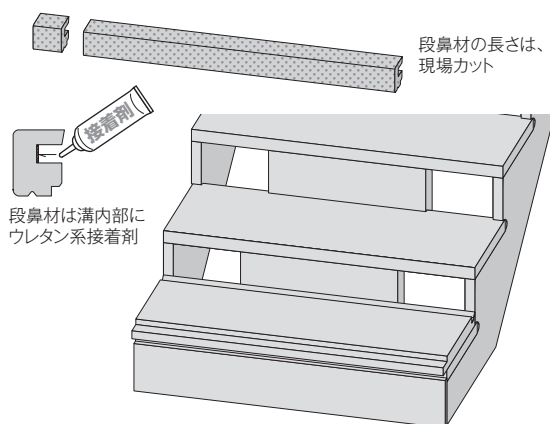


先行踏板の前面④と踏板の段鼻材勘合部加工位置⑧の面を揃えて取り付けてください。



1段目段鼻材の取付

- ・段鼻材を化粧踏板の寸法に合わせて現場カットします。
- ・化粧踏板の段鼻材吻合部分に接着剤 I W330 (ZY1211:別売品)を塗布し、段鼻材をしっかり押し込みます。



⚠ 注意

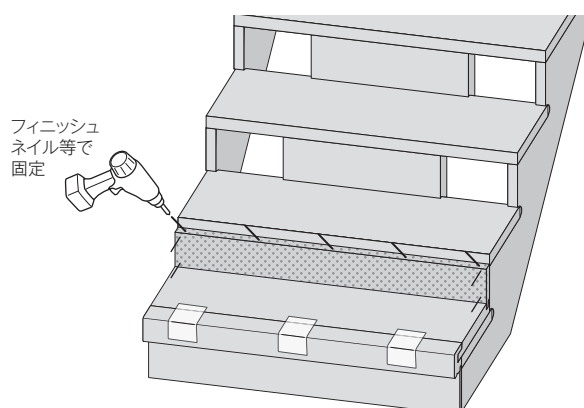
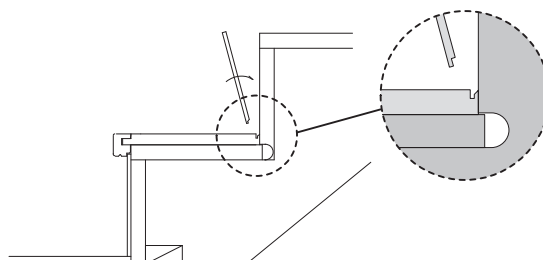
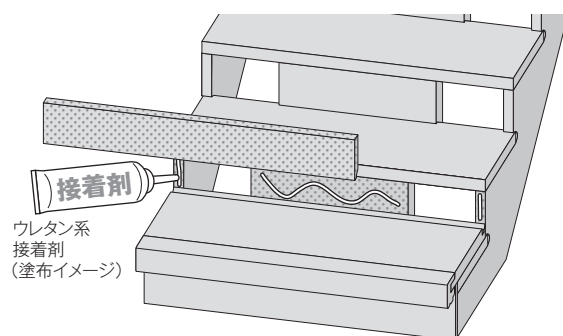
段鼻材の溝内部へ接着剤を注入しすぎると踏板との間に隙間が生じる場合があります。

Point!

段鼻剤を押し込みフィニッシュネイル(30mm)等で固定しても、表面に隙間がある場合は、養生テープ(現地調達品)等をつつぱりながら貼り付けて隙間の発生を防いでください。

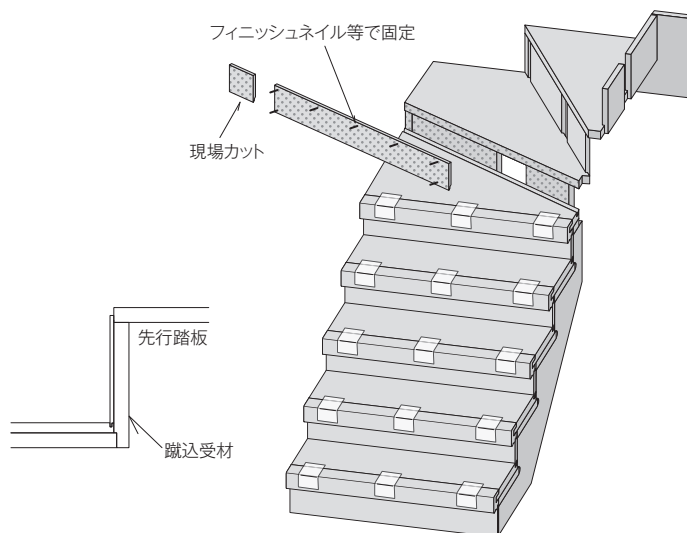
2段目以降の取付

- ・2段目以降の蹴込板は、吻合部へ強く押し込みながら取り付けてください。
- ・同様の手順で下から上に向かって取り付けていきます。

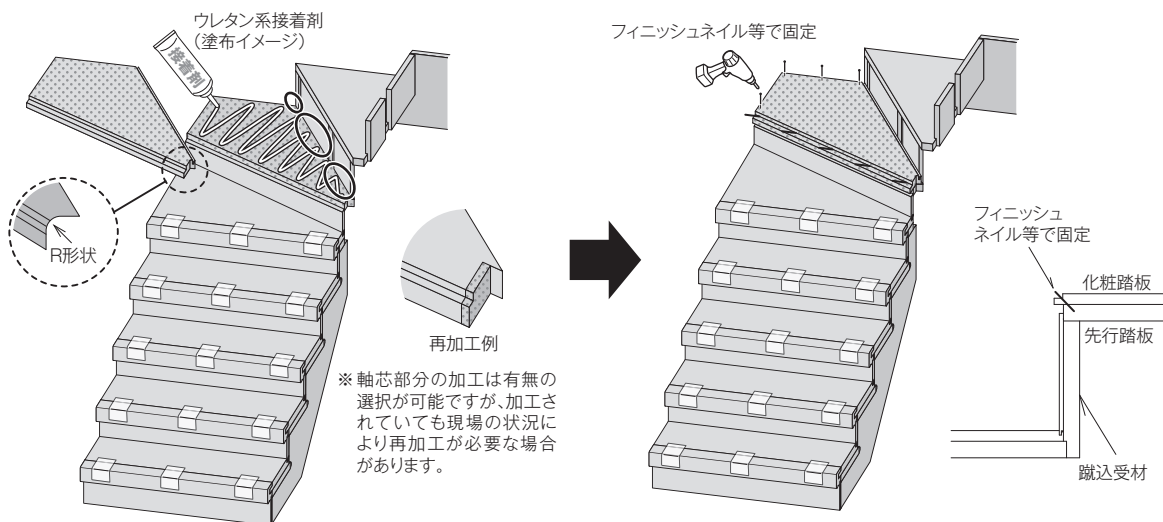


蹴込板の取付

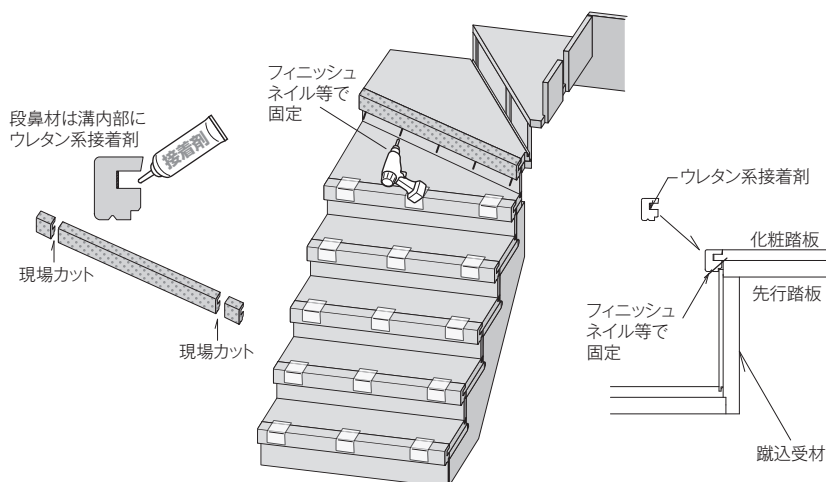
- ・蹴込板は寸法に合わせて現場カットしてください。
- ・蹴込板を強く押し込みながら取り付けます。
- ・直部分と同様、巾木等で隠れる位置にフィニッシュネイル等で固定します。



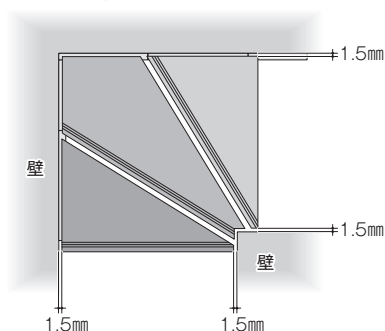
廻り踏板の取付



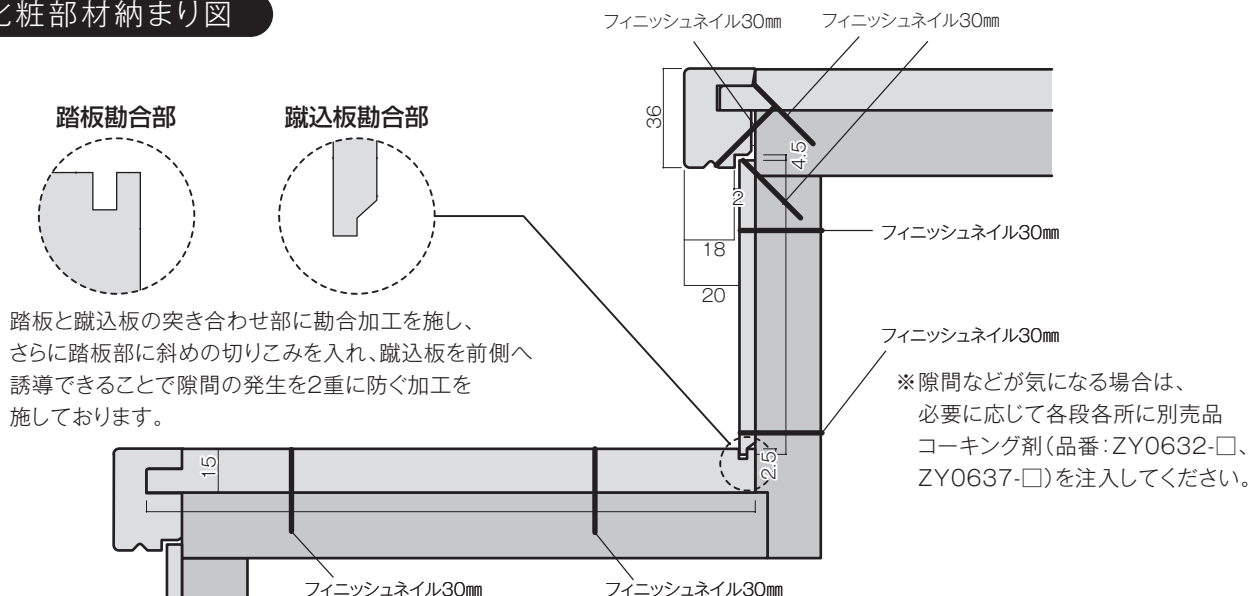
段鼻材の取付



真上から見た図



化粧部材納まり図



手順

3

上段框の取付

参考納まり(2階フロア厚12mm、床版24mmの場合)

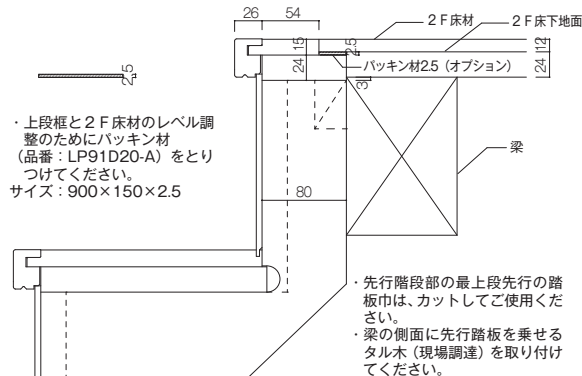
※2F床:12mm 床下地:24mmの場合の納まり図になります。(床材厚、床下地厚が異なる場合は、パッキン材の厚みも異なりますのでご注意ください。)

注意

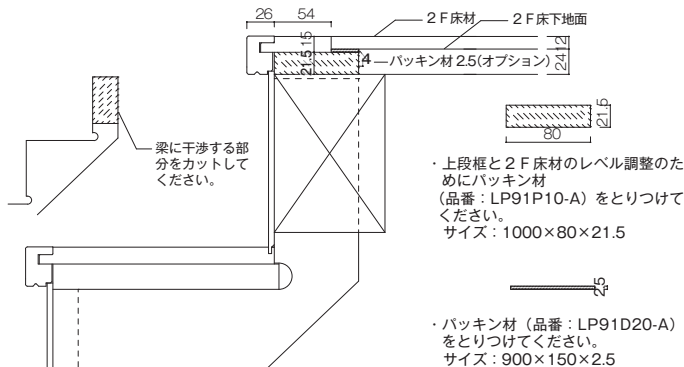
上段框は現場の梁の位置によって納まりが違います。建築図面、現場監督者に確認の上で上段框の納まりを決定ください。また、納まりに応じて上段框部分に使用する先行踏板は現場カットしてください。

標準的な納め方

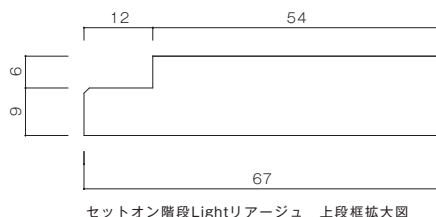
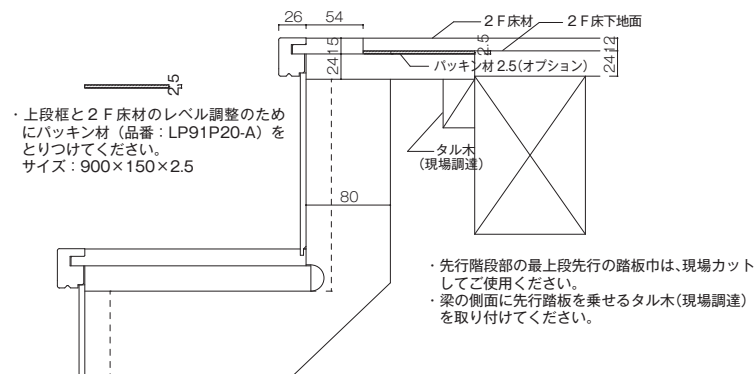
(受台に合わせて梁を逃した場合)



受台と梁が干渉する場合の納め方



受台と梁が離れている場合の納め方



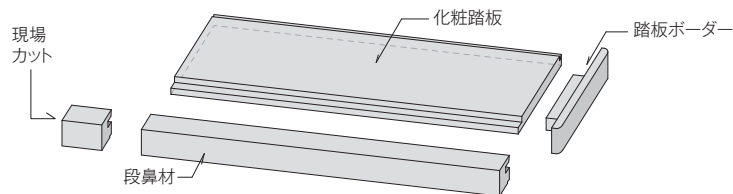
ひな段階施工の場合

※対応範囲は、踏面200mm～227.5mmまでとなります。

(踏面が200mm以下となる場合は現場加工が必要となります。)

仮組み

- 化粧踏板、段鼻材、踏板ボーダーを仮組みし、取付位置を決定させます。



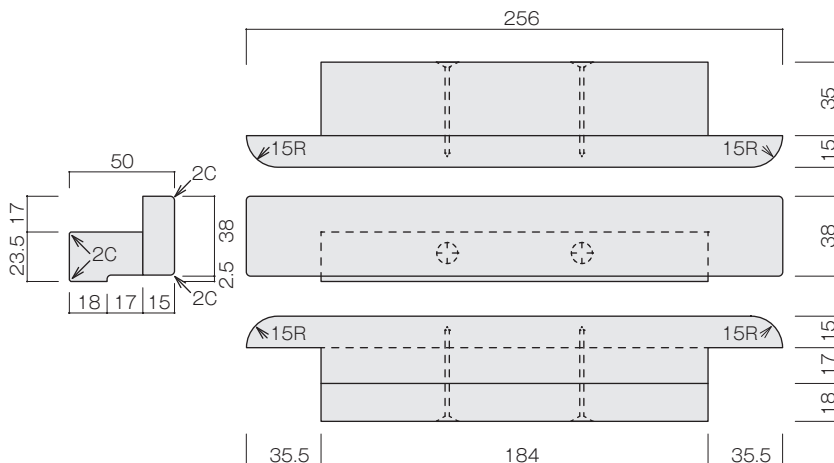
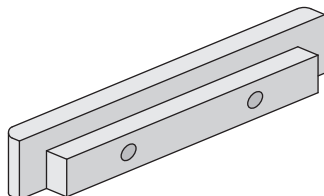
踏板ボーダー

セットオン階段Light用踏板ボーダー

サイズ:256×38×50

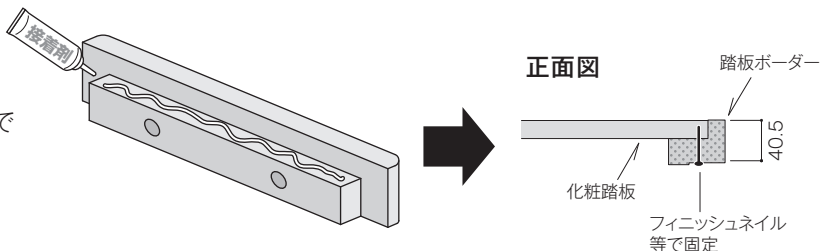
材 種:NZバイン

品 番:BES361-7-□



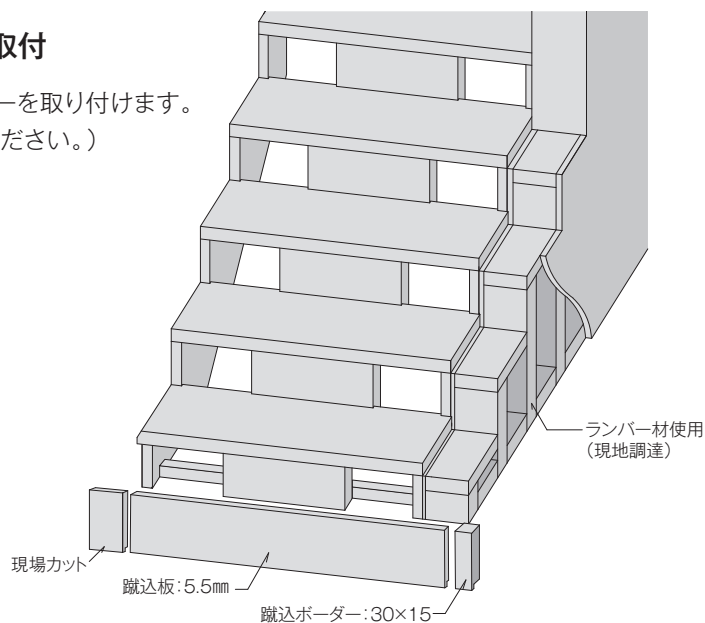
化粧踏板と踏板ボーダーの固定

- 化粧踏板と踏板ボーダーを決めた位置に接着剤とフィニッシュ、木ビス(下穴必要)等で裏面より固定させます。
(フィニッシュ、木ビスは表面へ飛び出さないサイズを使用ください。)



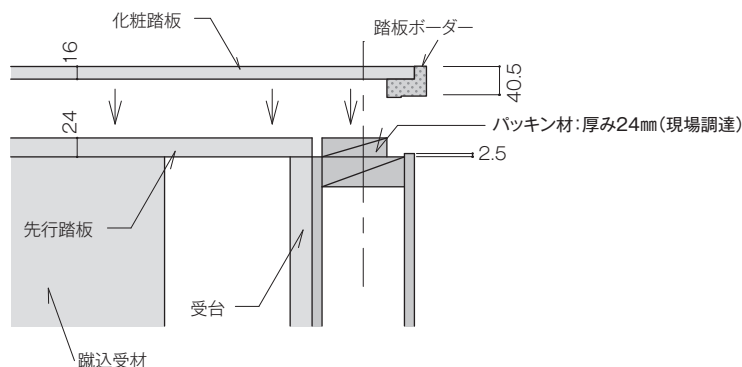
蹴込板と蹴込ボーダーの取付

- 1段目の蹴込板と蹴込ボーダーを取り付けます。
(固定方法はP.17をご参照ください。)



化粧踏板の取付

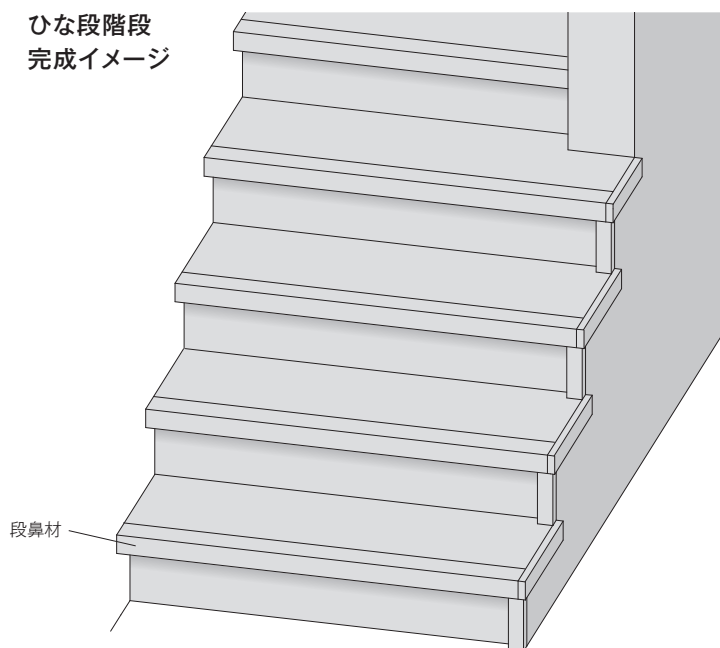
- ・厚み24mmのバッキン材（現場調達）をひな段部分に取り付けてください。
- ・踏板ボーダーと一体化させた1段目の化粧踏板を階段本体に取り付けます。（固定方法はP.17をご参照ください。）
- ・2段目以降も同様に蹴込ボーダーを取り付けてから化粧踏板を取り付けます。



段鼻材の取付

- ・最後に段鼻材を取り付けて完成です。（固定方法はP.18をご参照ください。）

ひな段階段
完成イメージ



施工終了後

養生の方法

- 施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。
- 市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ（品番：ZY0211）をご使用ください。
- 鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れのしかた

- 階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

使用説明書の手渡し

- 同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。

WOODONE